

2023 北斗旗 第 6 回世界空道選手権大会 最終予選と日本代表選考基準案 について

掲題について、下記の通り通達します。

記

1. 最終予選について

1-1. 最終予選について

第 6 回世界空道選手権大会の最終予選を以下のとおりとする。大会詳要綱は追って公表する。

大会名称 : (仮称) 第 1 回東アジア空道選手権大会 (または 第 4 回アジア空道選手権大会)
日 時 : 2022 年 11 月 13 日
場 所 : カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館)

1-2. 地区予選免除対象者について

5 月 29 日に開催した全日本空道体力別選手権大会での成績に基づき、以下の選手は地区予選を経ることなく最終予選に出場できることとする。

| | | | |
|----|--------|---------|----------|
| 男子 | 230 以下 | : 目黒雄太 | ソムチャヌアナー |
| | 240 以下 | : 伊東宗志 | 遠藤春翔 |
| | 250 以下 | : 小野寺稜太 | 佐川太郎 |
| | 260 以下 | : 近藤瑞起 | 麦谷亮介 |
| | 270 以下 | : 奈良朋弥 | |
| | 270 超 | : 岩崎大河 | |
| 女子 | 220 以下 | : 大倉萌 | |
| | 220 超 | : 内藤雅子 | |

1-3. 出場人数について

各カテゴリーの日本代表選手は 4 名から最大 6 名とし、1-2 の対象者以外については地区予選を通して決定する。

2. 第 6 回世界空道選手権大会日本代表選考基準案について

以下のとおりとする。

- ①最終予選において、日本人選手の最高順位者は、世界大会への出場資格を獲得する。
- ②他については、5 月の全日本選手権大会と最終予選の成績を考慮しつつ強化委員会が選考を行う。
- ③各カテゴリーの日本代表は、最大 2 名とする。

以上

一般社団法人 全日本空道連盟
理事長 高橋 英明